

信玄と義仲ゆかりの地紹介

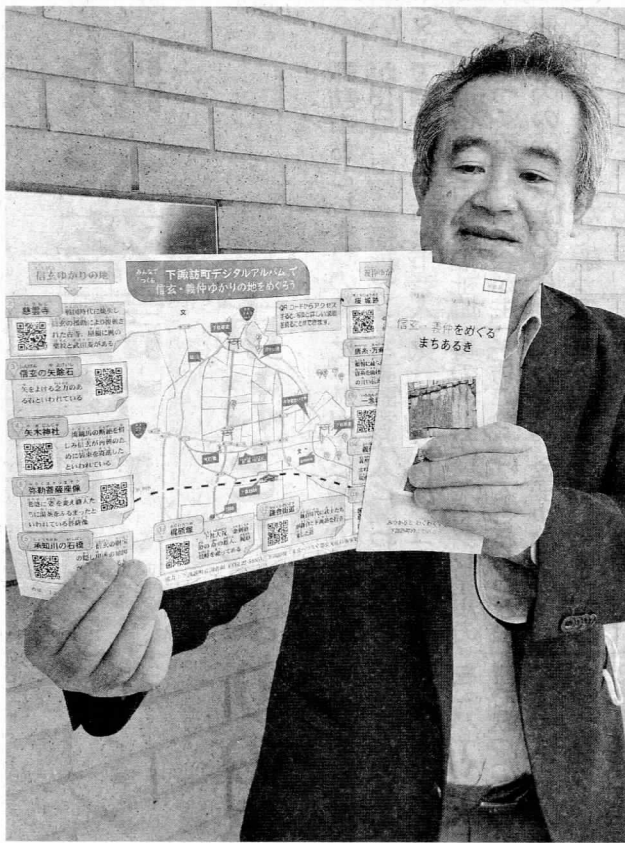
下諏訪みらい塾デジタルアーカイブ班マップ第3弾

下諏訪町のまちづくりについて考える町公民館の連続講座「下諏訪みらい塾」のデジタルアーカイブ班は、同町の明治から現代に至る写真をデジタル記録にしたサイト「みんなで作る下諏訪町デジタルアルバム」を活用した町歩きマップ第3弾となる「信玄・義仲をめぐるまちあるき」を作った。メンバーは「マップを手に町を歩き、新しい発見をしてほしい」と呼び掛けている。

今回は歴史好きに人気のあ

る戦国武将・武田信玄と平安末期の武将・木曾義仲を取り上げ、町内にあるゆかりの地を載せた。信玄の伝承では土田墓地入口にある「石造弥勒菩薩座像」(老婆に姿を変え職人たちに湯茶を振る舞ったと伝わる菩薩像)など6スポットを紹介。義仲ゆかりの地では小湯の上にある「唐系・万寿供養塔」(頼朝に捉えられた母唐系を助けた万寿姫の伝承)など7カ所を載せた。

マップに記載されたQRコードを読み取るとデジタルア



石造弥勒菩薩座像など町内13カ所

ルバムの古い写真と解説にアクセスできる。デジタルアルバムはインターネット上で写真を閲覧できるシステムで2020年3月から公開。ユーザー登録することで誰でも投稿でき、アーカイブを拡充していくことができる。

メンバーの曾根原義治さん「西赤砂」は「町民、子どもたちに町の歴史文化に興味を持ってほしい。観光客には次はこのテーマで歩いてみよう」というふうにマップを使ってもらい、リピーターになってほしい」と願った。井上喜久美さん「矢木町」も「マップ作りは歴史を知り、調べる楽しさがある。班の間を増やしたい」と話している。

「図書館まつり」に合わせて、同館2階では同班のパネル展示「懐かしの街並み」も展示中。マップは1000部作成。町内の図書館や文化センター、観光案内などで配布している。

↑ デジタルアーカイブ班が新たに作った、下諏訪町デジタルアルバムを活用した町歩きマップ第3弾